

令和8年2月16日現在

村山市公共施設等総合管理計画に 基づく個別施設計画（案）

令和8年3月改訂



山形県村山市

目 次

1. 個別施設計画について	．．．．．	1
2. 施設類型	．．．．．	2
3. 公共施設の管理に関する基本的な方針		
(1) 市民文化系施設	．．．．．	3
(2) 社会教育系施設	．．．．．	5
(3) スポーツ・レクリエーション系施設	．．．．．	6
(4) 学校教育系施設	．．．．．	8
(5) 子育て支援系施設	．．．．．	10
(6) 保健・福祉系施設	．．．．．	11
(7) 行政系施設	．．．．．	12
(8) 公営住宅	．．．．．	15
(9) 公園	．．．．．	16
(10) その他の施設	．．．．．	18
(11) 上水道施設	．．．．．	19
(12) 下水道施設	．．．．．	21

1. 個別施設計画について

(1) 目的

当市では、平成 28 年 11 月に「村山市公共施設等総合管理計画」を策定し、公共施設等の全体の状況を把握し、更新や統合、廃止、長寿命化、施設の管理方法など、公共施設の管理運営の指針を示しました。

本計画は、村山市公共施設等総合管理計画の基本方針に基づき、施設類型ごとの管理に関する具体的な対応方針を定めるものです。

【図 1 計画の位置づけ】



(2) 計画期間

本計画は、令和 8（2026）年 4 月 1 日から令和 13（2032 年）年 3 月 31 日までの 5 年間とします。

(3) 管理に関する基本的な方針

- ・施設の評価は各課において、以下の基準から判定します。

評価	内容
A 型	ソフト面・ハード面とも良好
B 型	ハード面で改善検討
C 型	ソフト面で改善検討
D 型	ソフト面・ハード面とも改善検討

- ・評価を踏まえて施設の基本的な方針を定めます。

方針	内容
継 続	機能維持のための修繕・改修を実施
統 合	大規模修繕を実施
複合化	他施設に統合または複合化を実施
転 用	他用途への転換を実施
規模縮小	施設機能移転後、用途変更
譲 渡	地元等への譲渡を実施
廃 止	解体処分を実施・民間等へ譲渡を実施
廃止に向けて検討	当面の間休止 など

2. 施設類型

本市の公共施設は 150 施設あり、施設類型ごとに整理しました。

【図2 施設類型別公共施設一覧】

施設類型		施設数		主な施設
大分類	中分類			
市民文化系施設	集会施設	12	14	農村環境改善センター、各地域市民センター ほか
	文化施設	2		村山市民会館、甌葉プラザ
社会教育系施設	図書館	—	5	村山市立図書館
	博物館等	5		最上徳内記念館、最上川美術館 ほか
スポーツ・レクリエーション系施設	スポーツ施設	7	13	村山市民体育館、村山武道館 ほか
	レクリエーション・観光施設	5		村山市故里交流施設（道の駅） ほか
	保養施設	1		クアハウス基点
学校教育施設	学校	9	10	市内小学校、市内中学校
	教育支援施設	1		教育支援センター
子育て支援施設	幼稚園・保育園・こども園	3	4	ひばり保育園、はやま認定こども園 ほか
	幼児・児童施設	—		—
	児童福祉施設	1		楯岡地域放課後児童クラブ
保健・福祉施設	障がい福祉施設	1	3	いきいき元気館
	保健施設	1		村山市保健センター
	その他社会保険施設	1		村山市福祉センター
行政系施設	庁舎等	1	42	村山市役所
	消防施設	40		村山市消防署、ポンプ車庫
	その他行政施設	1		防災センター
公営住宅	公営住宅	4	4	楯岡中町住宅、楯岡新馬場団地 ほか
公園	公園	22	22	東沢公園 ほか
その他	その他	10	10	袖崎地域資源利活用施設（雪室） ほか
上水道施設	上水道施設	21	21	楯岡浄水場管理事務所 ほか
下水道施設	下水道施設	2	2	金谷汚水中継ポンプ場 ほか

※「村山市立図書館（図書館）」は、甌葉プラザと一体的な施設であるため「文化施設」含めて計上

3. 公共施設の管理に関する基本的な方針

(1) 市民文化系施設

[基本情報]

市民文化系施設は 14 施設あり、集会施設 12、文化施設 2 となっています。同系の延床面積は、20,763.63 m²となっており全施設の 15.9%を占めます。

地域市民センターは、市内 8 地域に配置されており、市が直営しています。袖崎地域市民センターは、昭和 48 (1973) 年度に建設され築 52 年となっている一方、戸沢地域市民センターは、平成 25 (2013) 年度に建設され築 12 年と比較的新しい施設であり、地域により状況が異なっています。また、富本地域市民センターは、旧富本認定こども園を改修し、令和 4 (2022) 年度に移転しました。

農村環境改善センターは、平成 5 (1993) 年度に建設され築 32 年となっており、市が直営しています。平成 15 (2003) 年度には、市庁舎との連結工事を実施しています。Link MURAYAMA は、令和 2 (2022) 年度に旧楯岡高校跡地を県から取得し、改修工事を経て令和 4 年度にオープンしました。

No	施設名	主管課	築年度	経過年数	耐用年数	構造	延床面積	運営形態
1	農村環境改善センター	財政課	1993	32	80	鉄筋コンクリート	1,112.00	直営
2	楯岡地域市民センター	政策推進課	1994	31	47	鉄筋コンクリート	944.00	直営
3	西郷地域市民センター	政策推進課	1978	47	38	鉄骨造	512.00	直営
4	大倉地域市民センター	政策推進課	1990	35	22	木造	430.00	直営
5	大久保地域市民センター	政策推進課	1979	46	47	鉄筋コンクリート	602.00	直営
6	富本地域市民センター	政策推進課	1993	32	47	鉄筋コンクリート	983.00	直営
7	戸沢地域市民センター	政策推進課	2013	12	22	木造	494.36	直営
8	袖崎地域市民センター	政策推進課	1973	52	22	木造	408.00	直営
9	大高根地域市民センター	政策推進課	2000	25	24	木造	492.00	直営
10	大鳥居公民館 (山ノ内活性化施設)	農林課	1999	26	22	木造	99.00	地元管理
11	中山大谷地農作業準備休憩施設	農林課	1997	28	24	木造	76.00	地元管理
12	甌葉プラザ	政策推進課	2010	15	34	鉄骨造	4,480.09	直営
13	にぎわい創造活性化施設 Link MURAYAMA	政策推進課	1980	45	47	鉄筋コンクリート	6,594.18	指定管理
14	村山市民会館	生涯学習課	1966	60	50	鉄筋コンクリート	3,537.00	業務委託

[今後の方針]

14 施設中に耐震補強を実施していない施設（一部未実施を含む）は2施設あります。評価では、A評価が4施設、B評価が9施設、C評価が1施設です。方針では、「継続」が12施設、「複合化」が2施設となっています。

袖崎地域市民センターは、築50年以上経過し老朽化が著しいため、東部地区小学校統合後の袖崎小学校への移転を前提とした検討を進めます。大久保地域市民センターにおいては、西部地区小学校統合後の大久保小学校へ複合化を含めた移転を検討します。

また、市民会館においては、市民の芸術文化活動の中心として多くの利用があり、必要不可欠な施設です。各種設備や舞台装置が老朽化してきており、機能維持のための修繕を実施しながら存続させます。

No	施設名	耐震補強	評価・内容		方針・内容	
1	農村環境改善センター	不要	B	ハード面で改善検討	継続	機能維持のための修繕改修を実施
2	楯岡地域市民センター	不要	A	ソフト面・ハード面とも良好	継続	機能維持のための修繕改修を実施
3	西郷地域市民センター	実施済	B	ハード面で改善検討	継続	機能維持のための修繕改修を実施
4	大倉地域市民センター	不要	B	ハード面で改善検討	継続	機能維持のための修繕改修を実施
5	大久保地域市民センター	実施済	B	ハード面で改善検討	複合化	他施設に統合または複合化を実施
6	富本地域市民センター	不要	A	ソフト面・ハード面とも良好	継続	機能維持のための修繕改修を実施
7	戸沢地域市民センター	不要	A	ソフト面・ハード面とも良好	継続	機能維持のための修繕改修を実施
8	袖崎地域市民センター	一部未実施	B	ハード面で改善検討	複合化	他施設に統合または複合化を実施
9	大高根地域市民センター	不要	A	ソフト面・ハード面とも良好	継続	機能維持のための修繕改修を実施
10	大鳥居公民館（山ノ内活性化施設）	不要	B	ハード面で改善検討	継続	機能維持のための修繕改修を実施
11	中山大谷地農作業準備休憩施設	不要	C	ソフト面で改善検討	継続	機能維持のための修繕改修を実施
12	甌葉プラザ	不要	B	ハード面で改善検討	継続	機能維持のための修繕改修を実施
13	にぎわい創造活性化施設 Link MURAYAMA	実施済	B	ハード面で改善検討	継続	機能維持のための修繕改修を実施
14	村山市民会館	一部未実施	B	ハード面で改善検討	継続	機能維持のための修繕改修を実施

(2) 社会教育系施設

[基本情報]

社会教育系施設は5施設あり、博物館等5となっています。同系の延床面積は、4,330.00 m²となっており全施設の3.3%となっています。

図書館は、平成22(2010)年度に建設され築15年となっており、市が直営しています。甌葉プラザ内に設置された施設であるため、当面、大規模改修などの必要はありませんが、施設の長寿命化や維持管理コストの抑制を図るため、照明のLED化など適切に管理・運営する必要があります。

最上徳内記念館は、平成4(1992)年度に建設され築33年、最上川美術館は、平成15(2003)年度に建設され築22年となっており、市が直営しています。各施設とも、耐震性に問題はありませんが、老朽化が進んでいるため計画的な補修が必要となっています。

農村文化保存伝承館は、平成4(1992)年度に建設され築33年となっています。本施設は、平成3(1991)年～8(1996)年にかけて「基点リバーサイド地区農業農村活性化構造改善事業」により、農村伝承の家やスキー場、体験農園、農村公園等とともに一体的に整備されたもので、指定管理者制度を導入しています。特に利活用には支障はなく、各種イベントの実施や、農村文化の普及に一定の成果を上げています。

No	施設名	主管課	築年度	経過年数	耐用年数	構造	延床面積	運営形態
1	最上徳内記念館	生涯学習課	1992	33	50	鉄筋コンクリート/木造	775.00	直営
2	最上川美術館	生涯学習課	2003	22	50	鉄筋コンクリート/木造	558.00	直営
3	ふるさとふれあい学習館	商工観光課	1999	26	31	鉄骨造	2,192.00	指定管理
4	農村文化保存伝承館	農林課	1992	33	24	木造	337.00	指定管理
5	農村伝承の家	農林課	1993	31	22	木造	468.00	指定管理

[今後の方針]

5施設中に耐震補強が必要な施設はありません。評価では、B評価が5施設となっており、方針についても5施設が「継続」という内容になりました。

最上徳内記念館や最上川美術館などは、地域の文化や歴史の保存と伝承、発信に資する施設です。修繕箇所を順次改修していくなど、計画的に維持管理をしていきます。また、市民参加型のイベントや創意工夫を凝らした事業を実施し、幅広い層にアピールすることで、更なる施設の利活用と活性化を図ります。

No	施設名	耐震補強	評価・内容		方針・内容	
1	最上徳内記念館	実施済	B	ハード面で改善検討	継続	機能維持のための修繕改修を実施
2	最上川美術館	不要	B	ハード面で改善検討	継続	機能維持のための修繕改修を実施
3	ふるさとふれあい学習館	不要	B	ハード面で改善検討	継続	機能維持のための修繕改修を実施
4	農村文化保存伝承館	不要	B	ハード面で改善検討	継続	機能維持のための修繕改修を実施
5	農村伝承の家	不要	B	ハード面で改善検討	継続	機能維持のための修繕改修を実施

(3) スポーツ・レクリエーション系施設

[基本情報]

スポーツ・レクリエーション系施設は13施設あり、スポーツ施設7、レクリエーション施設・観光施設5、保養施設1となっています。同系の延床面積は、20,137.1 m²となっており全施設の15.4%を占めます。

市民体育館は、昭和57(1982)年度に建設され築43年、武道館は、昭和52(1977)年度に建設され築48年、居合振武館は、昭和54(1979)年度に建設され築46年となっており、これらを含むスポーツ施設は、指定管理者制度を導入しています。

レクリエーション施設・観光施設は、道の駅むらやま、山の内自然体験交流施設やまぼとなど5施設あります。道の駅むらやまは、平成9(1997)年度に建設され築28年となっており、指定管理者制度を導入しています。

山の内自然体験交流施設やまぼとは、平成4(1992)年度に建設され築33年となっており、地域団体に管理運営を委託しています。本施設は、平成19(2007)年度に閉校した山ノ内小学校を活用したもので、平成21(2009)年度より現在の形で利用されています。

No	施設名	主管課	築年度	経過年数	耐用年数	構造	延床面積	運営形態
1	村山武道館	生涯学習課	1977	48	34	鉄骨造	925.00	指定管理
2	村山居合振武館	生涯学習課	1979	46	27	鉄骨造/木造	539.00	指定管理
3	村山市民体育館	生涯学習課	1982	42	47	鉄筋コンクリート	4,606.00	指定管理
4	金谷運動広場(倉庫)	生涯学習課	1986	38	31	鉄骨造/木造	47.00	指定管理
5	金谷クラブハウス	生涯学習課	1994	31	22	木造	141.00	指定管理
6	楯岡スポーツレクリエーション広場(クラブハウス)	生涯学習課	1995	30	15	木造	152.00	指定管理
7	最上川右岸グラウンドゴルフ場休憩所	生涯学習課	2025	0	22	木造	86.10	指定管理
8	山の内自然体験交流施設やまぼと	生涯学習課	1992	33	47	鉄筋コンクリート	2,222.00	業務委託
9	旧大倉小学校屋内運動場	生涯学習課	1963	62	34	鉄骨造	544.00	直営
10	クアハウス基点	商工観光課	1981	44	47	鉄筋コンクリート	8,641.00	指定管理
11	村山市故里交流施設(道の駅)	商工観光課	1997	28	39	鉄筋コンクリート	2,105.00	指定管理
12	山ノ内体験農園管理棟(ワビ園)	農林課	2003	22	24	木造	30.00	地元管理
13	じゅん菜沼体験農園管理棟	農林課	2003	22	24	木造	99.00	地元管理

[今後の方針]

13 施設中に耐震補強を実施していない施設（一部未実施を含む）は2施設あります。評価では、A 評価が6施設、B 評価が5施設、C 評価が1施設、D 評価が1施設です。方針では、「継続」が10施設、「廃止」が3施設となっています。

村山武道館は、築48年が経過し耐震診断結果においても耐震性がないと判定されていますので、廃止の方向で検討を進めます。

金谷クラブハウスは、築31年が経過しており耐震補強は不要となっているものの、収納庫としての活用が大半であり利用率は低調です。可能な限り継続して利用はしていきますが、将来的には譲渡や廃止の方向で検討を進めます。

村山市故里交流施設（道の駅）は、新道の駅の整備が進んでいるため令和11年には施設を廃止する予定です。ローズブリッジの解体など施設の廃止を見据えた検討を進めていきます。

No	施設名	耐震補強	評価・内容		方針・内容	
1	村山武道館	一部未実施	B	ハード面で改善検討	廃止	廃止に向け解体処分を実施予定
2	村山居合振武館	一部未実施	B	ハード面で改善検討	継続	機能維持のための修繕改修を実施
3	村山市民体育館	不要	A	ソフト面・ハード面とも良好	継続	機能維持のための修繕改修を実施
4	金谷運動広場（倉庫）	不要	A	ソフト面・ハード面とも良好	継続	機能維持のための修繕改修を実施
5	金谷クラブハウス	不要	D	ソフト面・ハード面とも改善検討	廃止	譲渡・解体等を検討しながら廃止
6	楯岡スポーツクリエーション広場（クラブハウス）	不要	B	ハード面で改善検討	継続	機能維持のための修繕改修を実施
7	最上川右岸グラウンドゴルフ場休憩所	不要	A	ソフト面・ハード面とも良好	継続	機能維持のための修繕改修を実施
8	山の内自然体験交流施設やまばと	不要	A	ソフト面・ハード面とも良好	継続	機能維持のための修繕改修を実施
9	旧大倉小学校屋内運動場	実施済	A	ソフト面・ハード面とも良好	継続	機能維持のための修繕改修を実施
10	クアハウス基点	不要	B	ハード面で改善検討	継続	機能維持のための修繕改修を実施
11	村山市故里交流施設（道の駅）	不要	A	ソフト面・ハード面とも良好	廃止	新道の駅移転後に廃止
12	山ノ内体験農園管理棟（ワビ園）	不要	C	ソフト面で改善検討	継続	機能維持のための修繕改修を実施
13	じゅん菜沼体験農園管理棟	不要	B	ハード面で改善検討	継続	機能維持のための修繕改修を実施

(4) 学校教育系施設

[基本情報]

学校教育系施設は 10 施設あり、小学校 7、中学校 2、教育支援センター1 となっています。同系の延床面積は、52,112.00 m²となっており、全施設の 40.0%を占め、割合が最も高くなっています。

東部地区の袖崎小学校は、1969（昭和 44）年度に建設され築 56 年となっています。西郷小学校は、1985（昭和 60）年度に建設され築 40 年を迎えました。同地区においては、小学校 3 校が 2029（令和 11）年度に統合が計画されており、それに向けた準備が進められています。

西部地区の戸沢小学校、富本小学校、富並小学校は、1988（昭和 63）年度から 1991（平成 3）年度の間に建設され、築 34～37 年となっています。同地区においては、2028（令和 10）年度に小学校 4 校と葉山中学校を統合して義務教育学校とし、現在の葉山中学校の建物に設置することになっており、それに向けた準備が進められています。

No	施設名	主管課	築年度	経過年数	耐用年数	構造	延床面積	運営形態
1	楯岡小学校	学校教育課	2018	7	47	鉄筋コンクリート	9,440.00	直営
2	西郷小学校	学校教育課	1985	40	47	鉄筋コンクリート	4,173.00	直営
3	大久保小学校	学校教育課	2014	11	47	鉄筋コンクリート	3,674.00	直営
4	富本小学校	学校教育課	1988	37	47	鉄筋コンクリート	2,842.00	直営
5	戸沢小学校	学校教育課	1991	34	47	鉄筋コンクリート	4,967.00	直営
6	袖崎小学校	学校教育課	1969	56	47	鉄筋コンクリート	3,488.00	直営
7	富並小学校	学校教育課	1989	36	47	鉄筋コンクリート	3,044.00	直営
8	楯岡中学校	学校教育課	1995	30	47	鉄筋コンクリート	10,111.00	直営
9	葉山中学校	学校教育課	2003	22	47	鉄筋コンクリート	9,941.00	直営
10	教育支援センター	学校教育課						

[今後の方針]

10 施設中に耐震補強が必要な施設（一部未実施を含む）はありません。評価では、A 評価が 1 施設、B 評価が 1 施設、C 評価が 6 施設、D 評価が 2 施設となっています。方針では、「継続」が 2 施設、「統合」が 2 施設、「廃止」が 6 施設となっています。

葉山中学校は、2028（令和 10）年度の西部地区小学校統合に合わせた義務教育学校「葉山学園」開校に向け、大規模な改修を行います。また、大久保小学校の調理室は、「葉山学園」の調理施設として活用予定のため、義務教育学校の開校までに改修を行っていきます。

楯岡小学校は、2018（平成 30）年度に大規模改修を実施しましたが、2029（令和 11）年度の東部地区小学校統合に向け、調理室の改修などを行います。

楯岡中学校は、計画的に長寿命化改修工事を行いながら適正な維持管理を行っていきます。

この 3 校においては、昨今の猛暑対策として新たに屋内運動場への空調設備の導入を進めていきます。

その他の統合を控える各小学校においては、統合までの期間、機能維持のための修繕などを実施しながら運営していきます。統合後の施設の利活用については、地域の意向や民間の動向を踏まえながら検討していきます。

No	施設名	耐震補強	評価・内容		方針・内容	
1	楯岡小学校	実施済	D	ソフト面・ハード面とも改善検討	統合	大規模修繕を実施
2	西郷小学校	不要	C	ソフト面で改善検討	廃止	廃止後の利活用検討
3	大久保小学校	不要	C	ソフト面で改善検討	廃止	廃止後の利活用検討
4	富本小学校	実施済	C	ソフト面で改善検討	廃止	廃止後の利活用検討
5	戸沢小学校	不要	C	ソフト面で改善検討	廃止	廃止後の利活用検討
6	袖崎小学校	実施済	C	ソフト面で改善検討	廃止	廃止後の利活用検討
7	富並小学校	実施済	C	ソフト面で改善検討	廃止	廃止後の利活用検討
8	楯岡中学校	不要	B	ハード面で改善検討	継続	機能維持のための修繕改修を実施
9	葉山中学校	不要	D	ソフト面・ハード面とも改善検討	統合	大規模修繕を実施
10	教育支援センター	不要	A	ソフト面・ハード面とも良好	継続	機能維持のための修繕改修を実施

(5) 子育て支援系施設

[基本情報]

子育て支援系施設は4施設あり、保育園・こども園3、児童福祉施設1となっています。同系の延床面積は、3,719.00㎡となっており、全施設の2.9%を占めています。

はやま認定こども園は、1990（平成2）年度に建設され築35年となっています。ひばり保育園は、1993（平成5）年度に建設され築32年となっています。

西郷認定こども園は、2008（平成20）年度に建設され築17年となっていますが、入園者の減少に伴い2026（令和8年）年3月をもって閉園します。

No	施設名	主管課	築年度	経過年数	耐用年数	構造	延床面積	運営形態
1	はやま認定こども園	子育て支援課	1990	35	47	鉄筋コンクリート	1,588.00	指定管理
2	ひばり保育園	子育て支援課	1993	32	47	鉄筋コンクリート	919.00	直営
3	西郷認定こども園	子育て支援課	2008	17	22	木造	662.00	直営
4	楯岡地域放課後児童クラブ施設	子育て支援課	1980	45	47	鉄筋コンクリート	550.00	民間委託

[今後の方針]

4施設中、耐震補強が必要な施設（一部未実施を含む）はありません。評価では、B評価が1施設、C評価が1施設、D評価が2施設となっています。方針では、「継続」が3施設、「転用」が1施設となっています。

子育て支援施設は、必要不可欠な施設であるため引き続き機能維持の修繕を実施しながら運営していきます。

西郷認定こども園は、閉園後に放課後児童クラブ施設として活用する方針ですので、必要最小限の改修を行いながら他用途へ転換します。

No	施設名	耐震補強	評価・内容		方針・内容	
1	はやま認定こども園	不要	D	ソフト面・ハード面とも改善検討	継続	機能維持のための修繕改修を実施
2	ひばり保育園	不要	C	ソフト面で改善検討	継続	機能維持のための修繕改修を実施
3	西郷認定こども園	不要	D	ソフト面・ハード面とも改善検討	転用	他用途への転換を実施
4	楯岡地域放課後児童クラブ施設	不要	B	ハード面で改善検討	継続	機能維持のための修繕改修を実施

(6) 保健・福祉系施設

[基本情報]

保健・福祉系施設は3施設あり、障がい福祉施設1、保健施設1、その他保健・福祉系施設1となっています。同系の延床面積は、2,142.30 m²となっており、全施設の1.6%を占めています。

いきいき元気館は、1980（昭和55）年度に建設され築45年となっています。保健センターは、1979（昭和54）年度に建設され築46年となっています。施設の老朽化により、維持費の拡大が懸念されますが適宜対応している状況です。

福祉センターは、1971（昭和46）年度に建設され築54年が経過しています。隣接する道路の拡張工事に合わせて移転解体が必要となるため最小限の修繕で維持しているところです。

No	施設名	主管課	築年度	経過年数	耐用年数	構造	延床面積	運営形態
1	いきいき元気館	子育て支援課	1980	45	47	鉄筋コンクリート	1,191.00	民間貸与
2	村山市保健センター	保健課	1979	45	50	鉄筋コンクリート	507.30	直営
3	村山市福祉センター	福祉課	1971	54	50	鉄筋コンクリート	444.00	民間貸与

[今後の方針]

3施設中、耐震補強が必要な施設（一部未実施を含む）はありません。評価では、B評価が2施設、C評価が1施設となっています。方針では、「継続」が2施設、「複合化」が1施設となっています。

いきいき元気館は、障がい児の通所施設として必要であるため、機能維持の修繕を実施しながら運営していきます。

保健センターは、乳幼児健診や食生活改善推進等の事業に必要不可欠な施設です。また、休日診療所としても利用しているため、施設の機能維持のための必要な修繕を実施していきます。

福祉センターは、隣接する道路の拡張工事の進捗状況に合わせて解体・移転を検討する必要があります。最小限の修繕を行いながら移転に向けた検討を進めます。

No	施設名	耐震補強	評価・内容		方針・内容	
1	いきいき元気館	不要	C	ソフト面で改善検討	継続	機能維持のための修繕改修を実施
2	村山市保健センター	不要	B	ハード面で改善検討	継続	機能維持のための修繕改修を実施
3	村山市福祉センター	不要	B	ハード面で改善検討	複合化	他施設に統合または複合化を実施

(7) 行政系施設

[基本情報]

行政系施設は42施設あり、庁舎等1、消防施設40、その他行政系施設1となっています。同系の延床面積は、10,355.15㎡となっており、全施設の7.9%を占めています。

市役所は、1976（昭和51）年度に建設され築49年となっており、消防署も1975（昭和50）年度に建設され築50年となっています。施設の老朽化による不具合が頻発しています。

消防団施設は、50年以上経過している施設が数か所ある状況ですが、村山市消防団組織再編計画〔2020（令和2）年1月策定〕に沿って消防団組織の再編が進められています。

No	施設名	主管課	築年度	経過年数	耐用年数	構造	延床面積	運営形態
1	村山市役所	財政課	1976	49	80	鉄筋コンクリート	7,926.00	直営
2	村山市消防署	消防本部	1975	50	50	鉄筋コンクリート	1,251.00	直営
3	村山市防災センター	消防本部	1981	44	34	鉄骨造	406.00	直営
4	第1分団第1部ボンプ車庫	消防本部	1975	50	15	木造	27.72	—
5	第1分団第1部ボンプ車庫	消防本部	2021	4	34	鉄骨造	31.95	直営
6	第1分団第2部ボンプ車庫	消防本部	1989	36	34	コンクリートブロック	9.95	直営
7	第1分団第3部ボンプ車庫	消防本部	2023	2	24	軽量鉄骨造	14.73	直営
8	第1分団第4部ボンプ車庫	消防本部	2024	1	24	軽量鉄骨造	14.73	直営
9	第1分団第5部ボンプ車庫	消防本部	2005	20	15	木造	19.90	直営
10	第1分団第6部ボンプ車庫	消防本部	2015	10	15	木造	19.87	直営
11	第2分団第1部ボンプ車庫	消防本部	2008	17	15	木造	19.87	直営
12	第2分団第2部ボンプ車庫	消防本部	1996	29	34	コンクリートブロック	9.56	直営
13	第2分団第3部ボンプ車庫	消防本部	1979	46	34	コンクリートブロック	30.60	直営
14	第2分団第4部ボンプ車庫	消防本部	2022	3	24	軽量鉄骨造	15.52	直営
15	第2分団第5部第1班ボンプ車庫	消防本部	1980	45	34	コンクリートブロック	9.94	直営
16	第2分団第5部第2班ボンプ車庫	消防本部	1973	52	34	コンクリートブロック	10.71	直営
17	第2分団第6部ボンプ車庫	消防本部	2003	22	15	木造	19.87	直営
18	第3分団第1部第1班ボンプ車庫	消防本部	1984	41	34	コンクリートブロック	9.94	直営
19	第3分団第1部第2班ボンプ車庫	消防本部	1988	37	34	コンクリートブロック	9.94	直営
20	第3分団第2部ボンプ車庫	消防本部	1990	35	34	コンクリートブロック	31.20	直営
21	第3分団第3部ボンプ車庫	消防本部	2005	20	15	木造	19.87	直営
22	第4分団第1部ボンプ車庫	消防本部	1993	32	34	コンクリートブロック	9.95	直営
23	第4分団第2部ボンプ車庫	消防本部	1982	43	34	コンクリートブロック	9.94	—
24	第4分団第2部ボンプ車庫	消防本部	2025	0	24	軽量鉄骨造	14.73	直営
25	第4分団第3部第1班ボンプ車庫	消防本部	1955	70	15	木造	66.00	直営
26	第4分団第3部第2班ボンプ車庫	消防本部	2005	20	15	木造	19.87	直営
27	第5分団第1部ボンプ車庫	消防本部	1998	27	15	木造	34.87	直営
28	第5分団第1部第2班ボンプ車庫	消防本部	2023	2	24	軽量鉄骨造	15.52	直営

No	施設名	主管課	築年度	経過年数	耐用年数	構造	延床面積	運営形態
29	第5分団第2部ボンプ車庫	消防本部	2004	21	15	木造	19.87	直営
30	第6分団第1部第1班ボンプ車庫	消防本部	1965	60	34	コンクリートブロック	29.70	直営
31	第6分団第1部第2班ボンプ車庫	消防本部	2012	13	15	木造	19.87	直営
32	第6分団第2部ボンプ車庫	消防本部	2020	5	24	軽量鉄骨造	15.52	直営
33	第6分団第3部ボンプ車庫	消防本部	1987	38	34	コンクリートブロック	9.94	直営
34	第6分団第4部ボンプ車庫	消防本部	1999	26	15	木造	19.87	直営
35	第7分団第1部ボンプ車庫	消防本部	2003	22	15	木造	19.87	直営
36	第7分団第2部第1班ボンプ車庫	消防本部	2024	1	24	軽量鉄骨造	14.73	直営
37	第7分団第2部第2班ボンプ車庫	消防本部	1983	42	34	コンクリートブロック	31.23	直営
38	第8分団第1部ボンプ車庫	消防本部	2021	4	24	軽量鉄骨造	15.52	直営
39	第8分団第2部ボンプ車庫	消防本部	2011	14	15	木造	19.00	直営
40	第8分団第3部第1班ボンプ車庫	消防本部	1985	40	34	コンクリートブロック	31.23	直営
41	第8分団第3部第2班ボンプ車庫	消防本部	1969	56	34	コンクリートブロック	9.18	直営
42	第8分団第5部ボンプ車庫	消防本部	2001	24	15	木造	19.87	直営

[今後の方針]

42施設中、耐震補強を実施していない施設（一部未実施を含む）は9施設あります。評価では、A評価が34施設、B評価が4施設、D評価が1施設、その他が3施設となっています。方針では、「継続」が37施設、「統合」が3施設、「廃止」が2施設となっています。

市役所は、行政サービスの拠点施設であり、長期的な視点で計画的かつ効果的に維持管理や修繕を行う必要があります。2025（令和7）年3月に策定した長寿命化計画に沿って改修を進めながら適正な維持管理を行っていきます。

消防署は、災害時の拠点となる施設でもあり建て替えの検討が必要です。建て替えに向けた庁内検討会議を立ち上げながら計画的に進めていきます。

消防団施設の整備は、村山市消防団組織再編計画に沿って進められる消防団組織の再編に合わせて集約化や建て替えを進めていきます。

No	施設名	耐震補強	評価・内容		方針・内容	
1	村山市役所	一部未実施	B	ハード面で改善検討	継続	機能維持のための修繕改修を実施
2	村山市消防署	実施済	D	ソフト面・ハード面とも改善検討	継続	機能維持のための修繕改修を実施
3	村山市防災センター	不要	B	ハード面で改善検討	継続	機能維持のための修繕改修を実施
4	第1分団第1部ボンプ車庫	未実施	—	—	廃止	解体予定
5	第1分団第1部ボンプ車庫	不要	A	ソフト面・ハード面とも良好	継続	機能維持のための修繕改修を実施
6	第1分団第2部ボンプ車庫	不要	A	ソフト面・ハード面とも良好	継続	機能維持のための修繕改修を実施
7	第1分団第3部ボンプ車庫	不要	A	ソフト面・ハード面とも良好	継続	機能維持のための修繕改修を実施
8	第1分団第4部ボンプ車庫	不要	A	ソフト面・ハード面とも良好	継続	機能維持のための修繕改修を実施

No	施設名	耐震補強	評価・内容		方針・内容	
9	第1分団第5部ボンプ車庫	不要	A	ソフト面・ハード面とも良好	継続	機能維持のための修繕改修を実施
10	第1分団第6部ボンプ車庫	不要	A	ソフト面・ハード面とも良好	継続	機能維持のための修繕改修を実施
11	第2分団第1部ボンプ車庫	不要	A	ソフト面・ハード面とも良好	継続	機能維持のための修繕改修を実施
12	第2分団第2部ボンプ車庫	不要	A	ソフト面・ハード面とも良好	継続	機能維持のための修繕改修を実施
13	第2分団第3部ボンプ車庫	未実施	A	ソフト面・ハード面とも良好	継続	機能維持のための修繕改修を実施
14	第2分団第4部ボンプ車庫	不要	A	ソフト面・ハード面とも良好	継続	機能維持のための修繕改修を実施
15	第2分団第5部第1班ボンプ車庫	未実施	A	ソフト面・ハード面とも良好	継続	機能維持のための修繕改修を実施
16	第2分団第5部第2班ボンプ車庫	未実施	—	—	統合	R8年度団再編後に解体予定
17	第2分団第6部ボンプ車庫	不要	A	ソフト面・ハード面とも良好	継続	機能維持のための修繕改修を実施
18	第3分団第1部第1班ボンプ車庫	不要	A	ソフト面・ハード面とも良好	継続	機能維持のための修繕改修を実施
19	第3分団第1部第2班ボンプ車庫	不要	A	ソフト面・ハード面とも良好	継続	機能維持のための修繕改修を実施
20	第3分団第2部ボンプ車庫	不要	A	ソフト面・ハード面とも良好	継続	機能維持のための修繕改修を実施
21	第3分団第3部ボンプ車庫	不要	A	ソフト面・ハード面とも良好	継続	機能維持のための修繕改修を実施
22	第4分団第1部ボンプ車庫	不要	B	ハード面で改善検討	統合	団の再編後に解体
23	第4分団第2部ボンプ車庫	未実施	—	—	廃止	R7年度廃止、R8年度解体予定
24	第4分団第2部ボンプ車庫	不要	A	ソフト面・ハード面とも良好	継続	機能維持のための修繕改修を実施
25	第4分団第3部第1班ボンプ車庫	未実施	B	ハード面で改善検討	統合	団の再編後に解体
26	第4分団第3部第2班ボンプ車庫	不要	A	ソフト面・ハード面とも良好	継続	機能維持のための修繕改修を実施
27	第5分団第1部ボンプ車庫	不要	A	ソフト面・ハード面とも良好	継続	機能維持のための修繕改修を実施
28	第5分団第1部第2班ボンプ車庫	不要	A	ソフト面・ハード面とも良好	継続	機能維持のための修繕改修を実施
29	第5分団第2部ボンプ車庫	不要	A	ソフト面・ハード面とも良好	継続	機能維持のための修繕改修を実施
30	第6分団第1部第1班ボンプ車庫	未実施	A	ソフト面・ハード面とも良好	継続	機能維持のための修繕改修を実施
31	第6分団第1部第2班ボンプ車庫	不要	A	ソフト面・ハード面とも良好	継続	機能維持のための修繕改修を実施
32	第6分団第2部ボンプ車庫	不要	A	ソフト面・ハード面とも良好	継続	機能維持のための修繕改修を実施
33	第6分団第3部ボンプ車庫	不要	A	ソフト面・ハード面とも良好	継続	機能維持のための修繕改修を実施
34	第6分団第4部ボンプ車庫	不要	A	ソフト面・ハード面とも良好	継続	機能維持のための修繕改修を実施
35	第7分団第1部ボンプ車庫	不要	A	ソフト面・ハード面とも良好	継続	機能維持のための修繕改修を実施
36	第7分団第2部第1班ボンプ車庫	不要	A	ソフト面・ハード面とも良好	継続	機能維持のための修繕改修を実施
37	第7分団第2部第2班ボンプ車庫	不要	A	ソフト面・ハード面とも良好	継続	機能維持のための修繕改修を実施
38	第8分団第1部ボンプ車庫	不要	A	ソフト面・ハード面とも良好	継続	機能維持のための修繕改修を実施
39	第8分団第2部ボンプ車庫	不要	A	ソフト面・ハード面とも良好	継続	機能維持のための修繕改修を実施
40	第8分団第3部第1班ボンプ車庫	不要	A	ソフト面・ハード面とも良好	継続	機能維持のための修繕改修を実施
41	第8分団第3部第2班ボンプ車庫	未実施	A	ソフト面・ハード面とも良好	継続	機能維持のための修繕改修を実施
42	第8分団第5部ボンプ車庫	不要	A	ソフト面・ハード面とも良好	継続	機能維持のための修繕改修を実施

(8) 公営住宅

[基本情報]

公営住宅は4施設あります。延床面積は、11,542.00 m²となっており、全施設の8.9%を占めています。

公営住宅の中で一番古い施設は、楯岡中町住宅団地で1988（昭和63）年度に建設され築37年となっています。楯岡小谷地住宅団地は、2005（平成17）年度に建設され築20年となっており、唯一の木造施設となっています。

全ての施設を市が直営していますが、老朽化が進んでいる施設もあり維持管理に苦慮している状況です。

No	施設名	主管課	築年度	経過年数	耐用年数	構造	延床面積	運営形態
1	楯岡中町住宅団地	建設課	1988	37	47	鉄筋コンクリート	2,829.00	直営
2	市営住宅楯岡新馬場団地	建設課	1998	27	47	鉄筋コンクリート	1,517.00	直営
3	楯岡小谷地住宅団地	建設課	2005	20	22	木造	1,594.00	直営
4	定住促進楯岡北町団地	建設課	1993	32	47	鉄筋コンクリート	5,602.00	直営

[今後の方針]

4施設中、耐震補強が必要な施設（一部未実施を含む）はありません。評価では、全施設がA評価、方針は「継続」となっています。

公営住宅は、入居者が安全に安心して生活できる環境を整える必要があるため、計画的な維持管理や修繕等が必要です。長寿命化に向けた改修や施設のLED化など必要に応じた改修を行います。

また、定住促進楯岡北町団地は、子育て世帯の定住を図るため、使い勝手が良い間取りに改修を行いながらニーズに合った住環境を提供していきます。

No	施設名	耐震補強	評価・内容		方針・内容	
1	楯岡中町住宅団地	不要	A	ソフト面・ハード面とも良好	継続	機能維持のための修繕改修を実施
2	市営住宅楯岡新馬場団地	不要	A	ソフト面・ハード面とも良好	継続	機能維持のための修繕改修を実施
3	楯岡小谷地住宅団地	不要	A	ソフト面・ハード面とも良好	継続	機能維持のための修繕改修を実施
4	定住促進楯岡北町団地	不要	A	ソフト面・ハード面とも良好	継続	機能維持のための修繕改修を実施

(9) 公園

[基本情報]

公園は 22 施設あります。延床面積は、1,911.70 m²となっており、全施設の 1.5%を占めています。

東沢公園は、野外音楽堂をはじめバラ交流館などの施設を有する都市公園でもあり、市民の憩いの場になっています。また、バラまつりの時期には、多くの来園者が利用する公園となっています。運営は、指定管理と業務委託により維持管理している状況です。

そのほか、都市公園や農村公園、児童遊園は、子どもから高齢者まで幅広い年代の方々が日常的に使用する場所となっています。市が直営で管理しているほか、地元住民による管理が行われているところもあります。

No	施設名	主管課	築年度	経過年数	耐用年数	構造	延床面積	運営形態
1	東沢公園	商工観光課	1970	55	—	—	1,376.30	指定管理・委託
2	ふれあい広場あずまや	まち整備課	1992	33	22	木造	8.29	直営
3	ふれあい広場トイレ	まち整備課	1992	33	41	鉄筋コンクリート	37.55	直営
4	駅西第2公園あずまや	まち整備課	2002	23	22	木造	16.00	直営
5	駅西第2公園トイレ	まち整備課	2002	23	41	鉄筋コンクリート	15.21	直営
6	馬場公園あずまや	まち整備課	2009	16	22	木造	7.00	直営
7	五日町公園キャノピー	まち整備課	2009	16	22	木造	43.40	直営
8	五日町公園トイレ	まち整備課	2009	16	41	鉄筋コンクリート	5.80	直営
9	北楯公園あずまや	まち整備課	2009	16	22	木造	7.45	直営
10	中央公園あずまや	まち整備課	1976	49	22	木造	7.45	直営
11	楯岡十日町緑地あずまや	まち整備課	1997	28	22	木造	16.00	直営
12	河島山水辺の広場あずまや	まち整備課	1997	28	41	鉄筋コンクリート	20.25	直営
13	灰塚公園トイレ	まち整備課	1973	52	41	鉄筋コンクリート	4.00	直営
14	樽石観察センター	農林課	1996	29	24	木造	229.00	地元管理
15	宮下農村公園トイレ	農林課	2003	22	15	木造	8.00	地元管理
16	楯岡グリーンタウン農村公園あずまや	農林課	2004	21	15	木造	23.00	地元管理
17	八大龍王神社公衆便所	農林課	1990	35	15	木造	20.00	地元管理
18	樽石大学トイレ	農林課	2001	24	15	木造	12.00	地元管理
19	洗心広場あずまや	農林課	2003	22	17	木造	9.00	地元管理
20	大槇農村公園あずまやトイレ	農林課	1994	43	22	鉄筋コンクリート	30.00	地元管理
21	五日町児童遊園あずまや	子育て支援課	2018	7	24	鉄骨造	9.00	地元管理
22	中村遺跡縄文公園	生涯学習課	1996	29	15	木造	7.00	直営

[今後の方針]

22 施設中、耐震補強を実施していない施設（一部未実施を含む）は3施設あります。評価では、A 評価が7、B 評価が8、C 評価が6、D 評価が1となっています。方針では、「継続」が21施設、「廃止」が1施設となっています。

東沢公園は、市民の憩いの場所である都市公園として、これからも長きに渡って使用していきますので、機能維持のための必要な修繕を実施しながら運営していきます。

樽石観察センターは、地元で管理していますが世帯数の減少により維持管理の負担が増えています。地元による管理を継続しながら今後の施設管理について検討していきます。

そのほか都市公園や農村公園、児童遊園は、機能維持のための修繕改修を実施しながら地域住民が集える空間を確保していきます。老朽化により施設を維持できなくなった場合は、新たな施設を建設せずに解体する方向で進めます。

No	施設名	耐震補強	評価・内容		方針・内容	
1	東沢公園	一部未実施	B	ハード面で改善検討	継続	機能維持のための修繕改修を実施
2	ふれあい広場あずまや	不要	B	ハード面で改善検討	継続	機能維持のための修繕改修を実施
3	ふれあい広場トイレ	不要	B	ハード面で改善検討	継続	機能維持のための修繕改修を実施
4	駅西第2公園あずまや	不要	B	ハード面で改善検討	継続	機能維持のための修繕改修を実施
5	駅西第2公園トイレ	不要	B	ハード面で改善検討	継続	機能維持のための修繕改修を実施
6	馬場公園あずまや	不要	A	ソフト面・ハード面とも良好	継続	機能維持のための修繕改修を実施
7	五日町公園キャノピー	不要	A	ソフト面・ハード面とも良好	継続	機能維持のための修繕改修を実施
8	五日町公園トイレ	不要	A	ソフト面・ハード面とも良好	継続	機能維持のための修繕改修を実施
9	北橋公園あずまや	不要	A	ソフト面・ハード面とも良好	継続	機能維持のための修繕改修を実施
10	中央公園あずまや	不要	B	ハード面で改善検討	継続	機能維持のための修繕改修を実施
11	楯岡十日町緑地あずまや	不要	B	ハード面で改善検討	継続	機能維持のための修繕改修を実施
12	河島山水辺の広場あずまや	未実施	A	ソフト面・ハード面とも良好	継続	機能維持のための修繕改修を実施
13	灰塚公園トイレ	未実施	B	ハード面で改善検討	継続	機能維持のための修繕改修を実施
14	樽石観察センター	不要	C	ソフト面で改善検討	継続	機能維持のための修繕改修を実施
15	宮下農村公園トイレ	不要	C	ソフト面で改善検討	継続	機能維持のための修繕改修を実施
16	楯岡グリーンタウン農村公園あずまや	不要	C	ソフト面で改善検討	継続	機能維持のための修繕改修を実施
17	八竜王神社公衆便所	不要	C	ソフト面で改善検討	継続	機能維持のための修繕改修を実施
18	樽石大学トイレ	不要	C	ソフト面で改善検討	継続	機能維持のための修繕改修を実施
19	洗心広場あずまや	不要	C	ソフト面で改善検討	継続	機能維持のための修繕改修を実施
20	大槇農村公園あずまやトイレ	不要	A	ソフト面・ハード面とも良好	継続	機能維持のための修繕改修を実施
21	五日町児童遊園あずまや	不要	A	ソフト面・ハード面とも良好	継続	機能維持のための修繕改修を実施
22	中村遺跡縄文公園	不要	D	ソフト面・ハード面とも改善検討	廃止	廃止に向け検討

(10) その他の施設

[基本情報]

その他の施設は 10 施設あります。延床面積は、1,576.20 m²となっており、全施設の 1.2%を占めています。

袖崎地域資源利活用施設（袖崎雪室）は、地元研究会を中心とした利用があり、民間に管理運営業務を委託しています。

村山駅東口・西口の駐輪場は、日常的に使用されている施設ですが、経年劣化により塗装が剥がれているところも見受けられます。

No	施設名	主管課	築年度	経過年数	耐用年数	構造	延床面積	運営形態
1	車庫（旧村山保健所）	財政課	1991	34	25	鉄骨造	148.00	直営
2	南郷源泉機械室	商工観光課	1990	35	38	鉄筋コンクリート	65.00	民間委託
3	最上川ふるさと農園	農林課	1995	30	15	木造	69.00	指定管理
4	水車小屋	農林課	1995	30	15	木造	33.00	民間貸付
5	袖崎地域資源利活用施設（袖崎雪室）	農林課	1997	28	25	鉄骨造	529.00	民間委託
6	袖崎駅前自転車置場	市民環境課	1979	46	25	鉄骨造	25.00	直営
7	村山駅東口自転車駐輪場（南側）	市民環境課	2000	25	31	鉄骨造	121.00	直営
8	村山駅東口自転車駐輪場（北側）	市民環境課	2013	12	31	鉄骨造	151.20	直営
9	村山駅西口自転車駐輪場	商工観光課	2000	25	31	鉄骨造	97.00	直営
10	旧富本地域市民センター	政策推進課	1979	46	34	鉄骨造	338.00	直営

[今後の方針]

10 施設中、耐震補強が必要な施設（一部未実施を含む）はありません。評価では、B 評価が 7、D 評価が 3 となっています。方針は、「継続」が 9 施設、「転用」が 1 施設となっています。

旧富本地域市民センターは、地元学童保育施設としての利用を検討していきます。

No	施設名	耐震補強	評価・内容		方針・内容	
1	車庫（旧村山保健所）	不要	B	ハード面で改善検討	継続	機能維持のための修繕改修を実施
2	南郷源泉機械室	不要	B	ハード面で改善検討	継続	機能維持のための修繕改修を実施
3	最上川ふるさと農園	不要	B	ハード面で改善検討	継続	機能維持のための修繕改修を実施
4	水車小屋	不要	D	ソフト面・ハード面とも改善検討	継続	機能維持のための修繕改修を実施
5	袖崎地域資源利活用施設（袖崎雪室）	不要	D	ソフト面・ハード面とも改善検討	継続	機能維持のための修繕改修を実施
6	袖崎駅前自転車置場	不要	B	ハード面で改善検討	継続	機能維持のための修繕改修を実施
7	村山駅東口自転車駐輪場（南側）	不要	B	ハード面で改善検討	継続	機能維持のための修繕改修を実施
8	村山駅東口自転車駐輪場（北側）	不要	B	ハード面で改善検討	継続	機能維持のための修繕改修を実施
9	村山駅西口自転車駐輪場	不要	B	ハード面で改善検討	継続	機能維持のための修繕改修を実施
10	旧富本地域市民センター	実施済	D	ソフト面・ハード面とも改善検討	転用	他用途への転換を実施

(11) 上水道施設

[基本情報]

上水道施設は 21 施設あります。延床面積は、696.88 m²となっており、全施設の 0.5%となっています。

日影ポンプ場と旧深沢ポンプ場は、1965（昭和 40）年度に建設され築 60 年となっています。21 施設中 14 施設が 40 年以上経過している状況です。

No	施設名	主管課	築年度	経過年数	耐用年数	構造	延床面積	運営形態
1	楯岡浄水場管理事務所	水道課	1988	37	15	木造	59.62	直営
2	楯岡低区配水池電気室	水道課	1980	45	38	鉄筋コンクリート	24.50	直営
3	楯岡高区配水池電気室	水道課	1986	39	38	鉄筋コンクリート	28.00	直営
4	大倉低区配水池電気室	水道課	1993	32	38	鉄筋コンクリート	47.00	直営
5	大倉高区滅菌室	水道課	1975	50	34	コンクリートブロック	13.71	直営
6	西郷配水池電気室	水道課	1981	44	38	鉄筋コンクリート	9.90	直営
7	戸沢配水池電気室	水道課	1982	43	38	鉄筋コンクリート	24.50	直営
8	湯野沢配水池電気室	水道課	1982	43	38	鉄筋コンクリート	9.90	直営
9	湯野沢ポンプ場	水道課	1981	44	38	鉄筋コンクリート	24.50	直営
10	日影ポンプ場	水道課	1965	60	34	コンクリートブロック	5.08	直営
11	深沢配水池電気室	水道課	1981	44	38	鉄筋コンクリート	12.25	直営
12	深沢ポンプ場	水道課	1981	44	38	鉄筋コンクリート	24.50	直営
13	旧深沢ポンプ場	水道課	1965	60	34	コンクリートブロック	5.09	直営
14	岩野配水池滅菌室	水道課	1977	48	38	鉄筋コンクリート	3.24	直営
15	山の内高区配水池滅菌室	水道課	1971	54	38	鉄筋コンクリート	3.60	直営
16	山の内浄水場	水道課	2014	11	38	鉄筋コンクリート	80.27	直営
17	計装管理室	水道課	1981	44	38	鉄筋コンクリート	62.50	直営
18	新町送水場	水道課	1983	43	38	鉄筋コンクリート	56.92	直営
19	大倉高区ポンプ場	水道課	2004	21	38	鉄筋コンクリート	26.60	直営
20	樽石ポンプ場	水道課	2016	9	38	鉄筋コンクリート	55.20	直営
21	緊急時浄水施設（楯岡高区内）	水道課	2024	1	31	鉄骨	120.00	直営

[今後の方針]

21 施設中、耐震補強を実施していない施設(一部未実施を含む)は 17 施設あります。評価では、A 評価が 2、B 評価が 19 となっています。方針は、全ての施設が「継続」となっています。

2024 (令和 6) 年度に、災害に対応した飲料水確保のため、断水時の応急給水拠点として緊急時浄水施設を整備しました。

また、対策が必要な重要施設に接続する上下水道管路等について、必要に応じ耐震化を行い、上水道管路については老朽管の更新を検討します。

今後とも安定した水道水を供給するため、計画的な水道施設・水道管路の更新を行っていきます。

No	施設名	耐震補強	評価・内容		方針・内容	
1	楯岡浄水場管理事務所	未実施	B	ハド`面で改善検討	継続	機能維持のための修繕改修を実施
2	楯岡低区配水池電気室	未実施	B	ハド`面で改善検討	継続	機能維持のための修繕改修を実施
3	楯岡高区配水池電気室	未実施	B	ハド`面で改善検討	継続	機能維持のための修繕改修を実施
4	大倉低区配水池電気室	未実施	B	ハド`面で改善検討	継続	機能維持のための修繕改修を実施
5	大倉高区滅菌室	未実施	B	ハド`面で改善検討	継続	機能維持のための修繕改修を実施
6	西郷配水池電気室	未実施	B	ハド`面で改善検討	継続	機能維持のための修繕改修を実施
7	戸沢配水池電気室	未実施	B	ハド`面で改善検討	継続	機能維持のための修繕改修を実施
8	湯野沢配水池電気室	未実施	B	ハド`面で改善検討	継続	機能維持のための修繕改修を実施
9	湯野沢ポンプ場	未実施	B	ハド`面で改善検討	継続	機能維持のための修繕改修を実施
10	日影ポンプ場	未実施	B	ハド`面で改善検討	継続	機能維持のための修繕改修を実施
11	深沢配水池電気室	未実施	B	ハド`面で改善検討	継続	機能維持のための修繕改修を実施
12	深沢ポンプ場	未実施	B	ハド`面で改善検討	継続	機能維持のための修繕改修を実施
13	旧深沢ポンプ場	未実施	B	ハド`面で改善検討	継続	機能維持のための修繕改修を実施
14	岩野配水池滅菌室	未実施	B	ハド`面で改善検討	継続	機能維持のための修繕改修を実施
15	山の内高区配水池滅菌室	未実施	B	ハド`面で改善検討	継続	機能維持のための修繕改修を実施
16	山の内浄水場	不要	B	ハド`面で改善検討	継続	機能維持のための修繕改修を実施
17	計装管理室	未実施	B	ハド`面で改善検討	継続	機能維持のための修繕改修を実施
18	新町送水場	未実施	B	ハド`面で改善検討	継続	機能維持のための修繕改修を実施
19	大倉高区ポンプ場	不要	B	ハド`面で改善検討	継続	機能維持のための修繕改修を実施
20	樽石ポンプ場	不要	A	ソフト面・ハド`面とも良好	継続	機能維持のための修繕改修を実施
21	緊急時浄水施設(楯岡高区内)	不要	A	ソフト面・ハド`面とも良好	継続	機能維持のための修繕改修を実施

(12) 下水道施設

[基本情報]

下水道施設は2施設あります。延床面積は、1,073.79 m²となっており、全施設の0.8%となっています。

金谷汚水中継ポンプ場は、1992（平成4）年度に建設され築33年となっています。また、袖崎地区農業集落排水処理施設は、2001（平成13）年度に建設され築24年となっています。

No	施設名	主管課	築年度	経過年数	耐用年数	構造	延床面積	運営形態
1	金谷汚水中継ポンプ場	水道課	1992	33	38	鉄筋コンクリート	349.44	直営
2	袖崎地区農業集落排水処理施設	水道課	2001	24	38	鉄筋コンクリート	724.35	直営

[今後の方針]

2施設中、耐震補強が必要な施設（一部未実施を含む）はありません。評価では、全施設でB評価、方針では「継続」となっています。

下水道事業経営戦略で示しているストックマネジメント計画や点検調査に基づいた計画的な改築更新により、投資の平準化に努めます。また、コスト削減や業務の効率化等につながる質の高い投資について検討を進めます。

No	施設名	耐震補強	評価・内容		方針・内容	
1	金谷汚水中継ポンプ場	不要	B	ハード面で改善検討	継続	機能維持のための修繕改修を実施
2	袖崎地区農業集落排水処理施設	不要	B	ハード面で改善検討	継続	機能維持のための修繕改修を実施